

LibreOffice 4.0.4→4.0.5 JA 福岡市で把握している不具合修正状況

打消し線の項目は 4.0.5 で修正済です

テスト機 OS:Windows7 pro 32bit

[Calc]

- 繰り返し行の印刷設定を保存しても1行目の設定が保存されない—

4.05 修正済 1. 書式 → 印刷範囲 → 編集(ダイアログ印刷範囲の編集が開きます)

2. 繰り返す行の右にあるアイコンをクリックします。

で繰り返し印刷する行を指定します、この指定で1行目を含めて設定しファイル保存後、再読み込みすると1行目だけが排除されてしまう現象です

例)1行目と2行目を繰り返す行として指定→ファイルを保存して閉じる→再読み込み→1行目の設定がなくなり2行目だけを繰り返す設定になっている

4.0.5で解消予定

- セルを縦結合後、条件付き書式で書式を設定しても結合セル全体ではなくセル1つ分しか書式が変更されない

例:セルA1とA2を結合し、結合セルをA1で利用できるようになったとした場合、条件付き書式でA1の書式を変更すると、変更が反映されるのは結合したセルの上半分、つまり結合前のA1のセル範囲のみになってしまう現象です

回避策:結合するセルすべてに同じ条件付き書式を設定した後、セルを結合すると回避可能

Ver3.6系 4.0系で発生(解消バージョン不明) 3.5系では発生せず

- チェックボックスをシート上に配置した後、チェックボックスの周囲にあるセルを選択するとチェックボックスが見えなくなってしまう

4.05 修正済 チェックボックスは見えなくなりますが存在しているので、マウスで消えたあたりをチョンチョンとチェックすると見えるようになります

ver4.0系のみで発生:解消バージョン不明

○バグではない日本語表示不具合

- ピボットテーブルの日付データをグループ化する際に、日付データ欄にカーソルを置いてデータ→グループ化およびアウトラインから月を選んでグループ化すると、月でグループ化できるのですが、1月・3月・4月と表示されるところがJan・Mar・Aprと英語表記で表示される。

ちなみに日でグループ化した場合は「1月2日」「3月15日」で表示されます

全バージョン:解消予定不明

○解消済バグ

- セルに1932-01-01と入力すると—1931-12-31—と表示される日付表示のバグは4.0.4で解消

4.05 修正済

○OpenBasic マクロについての不具合:Ver3.5系で作成したマクロの動作、不具合無し

○Calc 関数:Ver3.5系で利用していた関数の不具合無し

○VisualBasic との互換性:マクロの互換運用は実施していないので未調査

○xls・xlsxでの互換性の不具合:未チェック

[Base]機能不足含む

- テーブル:データを上書き保存したのに実際は保存されていないことが発生する(未確認)

4.05 修正済

- レポート:作成しようとするときodbファイルが強制終了する(4.0.4のみ発生)

- レポート:ページフッター欄に合計などをセットできない

4.05 修正済

- レポート:明細行の高さを0.75未満に設定できない

- レポート:罫線が描画できない(シェイプで書く必要がある)

- レポート:テキストボックスの枠線を表示できない

- レポート:レポート出力に時間がかかる(100件程度の個人別明細表などを作成する際でも) **4.05**ではだいぶ早くなりました!

4.05 修正済

- レポート:xlsファイルをリンクテーブルにしたmdbファイルをodbでリンクしたレポートで、日付が2日ほど過去になる(データ上は問題ないが、レポートとして出力すると2日程度過去日付で表示される)4.0系のみ発生

xls⇒mdb⇒odbという接続を行った場合に発生するようです

- クエリー:表計算シートをリンクテーブルとして運用すると関数が使えない(集計機能も関数も使えない:並べ替えはOK)←コレが原因でxlsを直接リンクテーブルとして使えないので途中でmdbファイルを挟む必要がでてくる
- クエリー:OpenBasicで記述したFunction関数(ユーザー定義関数)が使えません

[Impress]

- 特に把握していません

[Draw]

- 特に把握していません

[Writer]

- 特に把握していません

- 3.5.7で作成した複雑なレイアウトのODFも問題なく再現されました

- doc・docxの互換性:未チェック